

「富山県成長戦略」の策定(R4.2)以降、毎年度「成長戦略アクションプラン」をとりまとめ、スピード感をもって着実に戦略を実行

【施策の実施状況(R6.3末現在)】

- ・「富山県成長戦略(R4.2)」に掲げた74の「成長戦略の実現に向けた施策」について、全て実施済み
- ・「富山県成長戦略会議ワーキンググループ最終報告書(R3.12)※」で「継続的な検討課題」とされた26施策のうち、23施策について実施済み

※ 成長戦略会議に設置した6つのワーキンググループにおいて、成長戦略を令和4年度予算編成に反映する具体的な施策を検討し、成長戦略会議に報告したもの

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
1. ウェルビーイング戦略					
(1)県民のウェルビーイングの認知とその向上、多様性の促進					
①	県内のウェルビーイングの向上に向けて、ウェルビーイングの具体的な定義を明確にし、県民への普及啓発を図るとともに、県民のニーズを把握し、ウェルビーイングを測る指標を設定	○	○	○	・ウェルビーイング調査・普及啓発事業(R4) →・ウェルビーイング推進事業(R5～R6) ・ウェルビーイング指標データベース構築・活用事業(R6)
②	県で設定した指標に基づき、ウェルビーイング向上に積極的に取り組む県内企業等を顕彰する制度の創設や、ウェルビーイングに取り組む県民を紹介するなど、県内でのウェルビーイングの向上に向けた取組みを推進	○	○	○	・ウェルビーイング調査・普及啓発事業(R4)【再掲】 →・ウェルビーイング政策構築事業(R5) →・若者・こどものつながり実感充実事業(R6) ・ウェルビーイング経営実態調査・分析事業(R6) ・ウェルビーイング経営推進事業(R6)
(2)女性のウェルビーイングの向上、働き方改革・ワークインライフの推進					
①	若い女性のニーズや意識を把握・分析するとともに、女性のウェルビーイングが向上するように県民や県内企業の意識改革を推進	○	○	○	・ウェルビーイング向上を目指す男女共同参画推進事業(R4) ・ジェンダー平等推進プロジェクト2030事業(R5) →アンコンシャス・バイアス気づき発信事業(R6)
②	経営者の意識改革、理解促進を図り、女性が活躍できる環境づくりを進めるとともに、企業実態に応じた働き方改革を支援	○	○	○	・女性活躍「ファーストペンギン企業」パイロット事業(R4～R5) →働き方改革・女性活躍サポート事業(R6) ・企業成長×女性活躍プロジェクト推進事業(R4～R6) ・男性の育児休業取得緊急促進事業(R4～R6) ・UIJターン促進情報発信事業(R5) →「就活ラインとやま」情報発信強化事業(R6)
③	子育て中の女性のウェルビーイングの向上に資する、各種子育て支援制度の周知を強化するとともに、これら制度の活用に対する抵抗感を低減するため、利用しやすい雰囲気醸成するなど、制度の活用促進に向けた取組みを推進	○	○	○	・とやま子育てイメージアップ事業(R4～R5) ・子育て支援AIチャットボット運用事業(R5～R6) ・子育て支援ポイント制度事業(R6)
(3)人材交流・人材集積の推進					
①	「幸せ人口1000万」を目指し、本県の成長戦略の取組みを県内外に発信し、成長戦略及びそのビジョンに共感する県内外の多様な人材との連携により、成長戦略の実現に向けた取組みを推進	○	○	○	・富山県成長戦略カンファレンス「しあわせ。富山」開催事業(R4～R6) ・ウェルビーイング・デジタルコミュニティ活性化支援事業(R5～R6) ・大阪・関西万博出展(実施計画作成)事業(R6)
②	関係人口の創出や二拠点居住、将来的な移住、サテライトオフィスの誘致に繋げるためワーケーション・テレワーク移住を推進	○	○	○	・とやまワーケーション推進事業(R4)、 とやまでお試しテレワーク移住促進事業(R4) →ワーケーション・テレワーク推進事業(R5～R6) ・富山サテライトオフィス誘致プロジェクト事業(R4～R5) →富山サテライトオフィス整備支援事業(R6) ・移住者受入モデル地域育成支援事業(R5～R6) ・とやま移住魅力発信・強化事業(R5～R6)
③	県外からの多様な人材が地域の人的ネットワークの支援も得ながら、いきいきと活動できるよう環境づくりを推進	○	○	○	・関係人口1,000万人協働促進事業(R4～R6) ・移住者受入モデル地域育成支援事業(R5～R6)【再掲】 ・とやま移住魅力発信・強化事業(R5～R6)【再掲】
④	県外から移住し、様々な地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の県内活動を支援するほか、任期終了後の県内定着を推進	○	○	○	・地域おこし協力隊定着率向上対策事業(~R6)

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
<b>●継続的検討課題</b>					
①	男性・女性・年配者・若年者などによって区別する考え方を排除するために、活躍するリーダーや企業経営者の意識改革をはじめとした啓発活動の推進	○	○	○	・企業成長×女性活躍プロジェクト推進事業(R4～R6)【再掲】 ・ジェンダー平等推進プロジェクト2030事業(R5)【再掲】 →アンコンシャス・バイアス気づき発信事業(R6)【再掲】
②	子どもは親だけが育てるのではなく「地域で育てる」事により、子どもだけではなく周囲の大人達のウェルビーイングの向上にも繋いでいく施策の推進	○	○	○	・こどもの居場所づくり推進事業(R5) →こどもの居場所づくり支援事業(R6) ・子どもほっとサロン事業(R4～R5) →こども食堂応援事業(R6) ・若者・こどものつながり実感充実事業(R6)【再掲】
③	ワークライフバランスではなくワークインライフ(生活の一部に仕事がある)の考え方にに基づき、「行きたい県、住みたい県」となるようなロールモデル育成とその広報活動の推進		○	○	・働き方改革等の横展開推進事業(R5～R6) ・移住者受入モデル地域育成支援事業(R5～R6)【再掲】 ・とやま移住魅力発信・強化事業(R5～R6)【再掲】
<b>2. まちづくり戦略</b>					
<b>(1)居心地がよく個性的な市街地・田園地域づくり</b>					
①	富山らしい個性的なまちづくり、地域づくりに向けて、地域の自主的な取組みを集中的に支援	○	○	○	・中山間地域チャレンジ支援事業(～R6) ・令和新时代まちづくり推進事業(～R4) →まちづくり総合支援事業(R5～R6) ・まちづくり組織創出モデル事業(R6)
②	AIやICTなど新しい技術やサービスを活用し、地域交通などの課題解決や地域振興に向けた実証実験や取組みを支援	○	○	○	・富山県MaaS環境構築事業(R4～R5) →富山県MaaS利用拡大事業(R6) ・新モビリティサービス等推進事業(R4～R5) ・地域共創型移動サービス推進事業(R6) ・デジタルソリューション推進事業(R4～R5) →デジポックとやま実証実験プロジェクト事業(R6)
③	サテライトオフィスの誘致やワーケーションの推進に向けて、情報発信や企業ニーズと候補地のマッチングを強化するとともに、市町村の取組みを支援	○	○	○	・とやまワーケーション推進事業(R4)【再掲】 →ワーケーション・テレワーク推進事業(R5～R6)【再掲】 ・富山サテライトオフィス誘致プロジェクト(R4～R5)【再掲】 →富山サテライトオフィス整備支援事業(R6)【再掲】
④	ワーケーションオフィスなどへの空き家の利活用の取組みを支援	○	○	○	・空き家利活用モデル支援事業(R4～R6)
⑤	本県の美しい景観を活かし、人と自然が共存できる持続可能で空間価値の高い田園地域の創出に取り組む	○	○	○	・デジタルを活用した魅力ある都市・田園地域研究調査事業(R4～R6) ・持続可能な魅力ある田園地域創出事業(R6) ・農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業(R5～R6) ・中山間地域チャレンジ支援事業(～R6)
<b>(2)官民連携によるまちづくりや社会課題解決の推進</b>					
①	行政が県民や民間企業等と連携しやすいよう、ボトムアップな官民連携に向けた体制を整備・運用	○	○	○	・官民連携・規制緩和推進体制強化事業(R4) →官民連携・規制緩和推進本部運営事業(R5～R6) ・官民連携・規制緩和推進デスクの設置・運営(R4～R6)
②	官民連携の推進に向けて、職員のスキル・ノウハウを向上させるとともに、県、市町村、民間企業等とのネットワークを構築	○	○	○	・官民連携人材育成事業(R4～R6) ・官民連携推進・強化事業(R6)
③	社会課題の解決を目指し、PFIやPFSなどの手法を活用した官民連携のモデル事業の創出を図る	○	○	○	・とやま地域プラットフォーム負担金(R5～R6) ・官民連携による公園再生・活性化事業(R4) →県立都市公園におけるPark-PFI導入推進事業(R5) →県立都市公園におけるPark-PFI導入事業(R6) ・富山空港混合型コンセッション導入可能性調査事業(R4) →富山空港民間活力導入準備事業(R5) →富山空港民間活力導入事業(R6) ・新川子ども施設民間活力導入可能性調査事業(R4) →新川子ども施設整備・運営事業(R5～R6)
<b>●継続的な検討課題</b>					
①	インフラの維持管理が困難な中山間地域での価値の高い“開疎”な空間づくり	○	○	○	・デジタルを活用した魅力ある都市・田園地域研究調査事業(R4～R6)【再掲】
②	デマンド交通、将来的には自動運転等を活用した新たな公共交通の体系づくり	○	○	○	・新モビリティサービス等推進事業(R4～R5)【再掲】 ・地域共創型移動サービス推進事業(R6)【再掲】

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況				
		実施年度			主な事業等	
		R4	R5	R6		
③	官と民を繋ぐ公益性のある中間支援組織(官民連携のシンクタンク)の設立	○	○	○	・「しあわせデザイン」設立・運営支援事業(R5) →「しあわせデザイン」との連携協力事業費(R6)	
④	まちづくりの次世代を担うプレーヤー(若者、社会起業家等)の育成支援			○	・まちづくり組織創出モデル事業(R6)	
⑤	「オープンシティ」の全国二番目(日本海側初)の実証実験誘致				-	
<b>3. ブランディング戦略</b>						
<b>(1)「関係人口 1000万人」創出に資する地域イメージの発信と本県の認知度の向上</b>						
①	関係人口を拡大して内需を伸ばすため、近隣県に対して、マーケティングに基づく情報発信や誘客促進の連帯を図り、日常の幸せを共有し、本県とのつながりを構築	○	○	○	・戦略的広報広聴調査・実証事業(R4) →・戦略的広報広聴事業(R5) →・県公式LINEの運営(R6) ・ブランディング・情報発信強化事業(R5) →・「寿司といえば、富山」県民・事業者参画促進事業(R6) ・「寿司といえば、富山」魅力発信事業(R6)	
②	デジタルでの情報発信について、サーロインの法則(制作3、発信6、検証1)を目指し、まず県自らが意識改革し、今あるコンテンツから新たに作るコンテンツまで、デジタル活用を前提に、効率的・効果的な情報発信に取り組み、富山の魅力を全国全世界に発信	○	○	○	・デジタルマーケティング推進事業(R4～R6) ・関係人口創出に向けたオウンドメディア構築事業(R5) →・関係人口創出に向けた情報発信事業(R6) ・とやま観光情報発信強化事業(R5) →・webマーケティングによるデジタル情報発信事業(R6)	
③	デジタルの時代だからこそ、首都圏・海外等での富山にゆかりのある人物との縁を活かすとともに、影響力のある方々(起業家・クリエイターなど)を富山ファンとし外部評価を高めるため、富山の出島(日本橋とやま館等)をショールーム・迎賓館として活かし、リアルな体験・PR、交流イベント等により、富山との関係を構築	○	○	○	・首都圏マーケティングin日本橋とやま館事業(R5) →・首都圏起点の全国マーケティングin日本橋とやま館事業(R6) ・関西圏情報発信拠点整備推進事業(R5) →・関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業(R6) ・首都圏情報発信拠点運営事業(～R6)	
④	リモートワークやワーケーション、多拠点居住を含めた関係人口の創出を目指すため、仕事や休暇を楽しむことができる富山の環境について、SNS等による情報発信や体験ツアー等を市町村とも連携し、提案	○	○	○	・とやまワーケーション推進事業(R4)【再掲】、 とやまでお試しテレワーク移住促進事業(R4)【再掲】 →ワーケーション・テレワーク推進事業(R5～R6)【再掲】	
<b>(2)国内外への富山＝ウェルビーイングのイメージづくりの推進</b>						
①	子どもや若い世代をはじめ、県民自らが県内に出かけ、ふるさとを発見し、誇りを持ち、ワクワクする体験を通じ、県民一人一人がクリエイターとなり発信したくなる機運を醸成	○	○	○	・若年層向け富山の魅力発見事業(R4～R6) ・ブランディング・情報発信強化事業(R5)【再掲】 →・「寿司といえば、富山」寿司職人マッチング支援事業(R6) ・「寿司といえば、富山」県民・事業者参画促進事業(R6)【再掲】	
②	暮らすように旅をする新たなスタイルの観光サービスを創出するため、女性の専門性や柔軟性、生活者としての視点を活かし、知的好奇心が旺盛で本物志向、消費意欲が旺盛な「ハイエンド観光客」への対応ができる人材を育成	○	○	○	・女性による「暮らすような旅」観光サービス事業化プロジェクト(R4～R5) ・トラベルデザイナー実践事業(R6) ・とやま観光塾事業(～R6)	
③	富山の自然、食・伝統文化などを活かし、欧米など新たな市場からの観光誘客に向けて、デジタルやリアルでの企画やPRを行うとともに、観光事業者や他産業と連携し、具体的な誘客につなげ、暮らすような旅のサービス提供に取り組む	○	○	○	・欧米豪デジタルマーケティング推進事業(R4) →欧米豪観光客誘致基盤体制強化事業(R5～R6) ・「富山week in LONDON」プロモーション事業(R4～R6)	
④	ウェルビーイングのイメージづくり、県民のふるさと発見や誇りの醸成、観光地域ブランディングのために、県民がクリエイター及びプレーヤーとなり挑戦することをみんなで応援する環境づくりに取り組む	○	○	○	・新たな時代に対応した観光地域づくり支援事業(R4) →・持続可能な観光地域づくり支援事業(R5～R6) ・県民ふるさとの日記念事業(～R6)	
<b>●継続的な検討課題</b>						
①	柔軟性の高い組織体制の構築(県が予算化・支援して民間が行うのではなく、一体となって運営していく半官半民の組織を想定)			○	○	・「しあわせデザイン」設立・運営支援事業(R5)【再掲】 →・「しあわせデザイン」との連携協力事業費(R6)【再掲】
②	一般層向けの施策とは別予算で、まずはクリエイターに焦点を当て、彼らの活動を支えるコミュニティを全15市町村に設置					-

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
③	本業の傍らクリエイターとして活躍している人を「複業クリエイター」として一層の活用を進めたり、オンラインスクールの運営企業と手を組んで県内の女性クリエイターを育成したりすることで、クリエイター人口そのものを拡大				-
④	・県内の新たな取組みの価値を評価するために、積極的に在京・海外メディアを巻き込み、外部評価を高めていく ・日本橋とやま館等をブランド体験やPR拠点として活用することで、富山出身者や最上級観光客との関係性を構築		○	○	・メディア連携情報発信事業(R5～R6) ・首都圏マーケティングin日本橋とやま館事業(R5)【再掲】 →首都圏起点の全国マーケティングin日本橋とやま館事業(R6)【再掲】
⑤	環水公園のような、県内外の人が集まりやすい県管轄エリアを活用し、ウェルビーイングを体現した象徴的な場(景色)を創出、ビジョンを言葉だけではなく体験できるものとして一つつくることで拠点化	○	○	○	・ウイズコロナ時代に対応した環水公園賑わい空間創出事業(R4) ・環水公園ウェルビーイング向上事業(R5～R6)
<b>4. 新産業戦略</b>					
<b>(1) 自立した経済圏の確立</b>					
①	本県産業との親和性があり本県に根付くことが期待される県外からの新規立地や県内企業のさらなる成長を促進するため、企業立地助成制度を拡充	○	○	○	・IT・オフィス系企業の県内進出に対する新たな助成制度の創設による支援(R4～R6) →女性活躍の推進に積極的な進出企業について、一定の要件を満たす場合、雇用助成期間を延長(3年→5年)(R5～R6)
②	再生可能エネルギーなど地域資源を活用し、地域の課題解決やエネルギーの地産地消にも資する、分散型エネルギーシステムの構築を促進	○	○	○	・富山県カーボンニュートラル戦略策定事業(R4) →カーボンニュートラル推進事業(R5) →カーボンニュートラル戦略推進事業(R6) ・小水力発電導入可能性調査事業(R5) ・再生可能エネルギー導入促進事業(R5～R6)
③	アルミ産業分野における素材の高度循環利用実現に向けた産学官による技術開発を支援	○	○	○	・アルミ産業成長力強化戦略推進事業(～R6)
<b>(2) 広域交通インフラの整備、経済交流</b>					
①	北陸の十字路構想を実現する陸・海・空の交通インフラの整備と利活用の促進を図る	○	○	○	・高規格道路等の整備促進の働きかけ(～R6) ・ポートセールス推進事業(～R6) ・富山空港国内線の利用促進(～R4) →ANAと連携した国内線の利用促進事業(R5～R6)
<b>(3) 県内産業のDX・高付加価値化支援</b>					
①	県内企業の生産性向上を後押しするDXを促進するため、普及啓発に取り組むとともに、支援体制を強化	○	○	○	・ローカル5G活用生産性向上推進事業(R4～R6) ・中小企業デジタル変革推進事業(R4～R6) ・富山県中小企業トランスフォーメーション補助金(R6) ・富山県中小企業ビヨンドコロナ補助金(R4～R5)
②	官民によるビッグデータ活用のためのプラットフォーム構築など、県内企業のDX促進につながるデータ利活用を推進	○	○	○	・ビッグデータ活用プラットフォーム構築事業(R4) →サービス連携プラットフォーム等整備事業(R5) →サービス連携プラットフォーム利活用推進事業(R6) ・「データ連携基盤」活用推進事業(R6)
③	企業内DX人材の育成を支援するため、社会人向けデータサイエンス教育を充実	○	○	○	・データサイエンス連携推進事業(R4～R6) ・DXサポーター養成事業(R4～R5)
④	民間人材によるDX・働き方改革推進補佐官を中心とした「DX・働き方改革推進本部」による各プロジェクトを着実に推進	○	○	○	・DX・働き方改革推進事業(R3～R6)
⑤	県内大学等が実施するリカレント教育の普及啓発の取り組みやセミナー開催を支援するなど、社会人の学び直しを支援	○	○	○	・県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業(R4～R6) ・データサイエンス連携推進事業(R4～R6)【再掲】
⑥	県立大学に整備される「DX教育研究センター(仮称)」を拠点として、社会人や学生をはじめとした県内のDX人材育成等を推進	○	○	○	・県立大学DX教育研究センター運営事業(R4～R6) ・県立大学情報工学部整備事業(R5～R6)

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
<b>(4)カーボンニュートラルを踏まえた産学官連携の強化</b>					
①	グリーン成長戦略分野など、今後成長が期待される分野での新製品・新技術の開発、事業化に資する、産学官のグループの研究開発プロジェクトを支援	○	○	○	・産学官オープンイノベーション推進事業(～R5) ・とやま成長産業創造プロジェクト推進事業(～R5) →・産学官オープンイノベーション推進事業(R6)
②	本県における温室効果ガス削減の施策等を再編強化するため、「新とやま温暖化ストップ計画」を見直し、普及啓発のため県民や産学官に向けて広く発信	○	○	○	・富山県カーボンニュートラル戦略策定事業(R4)【再掲】 →・カーボンニュートラル推進事業(R5)【再掲】 →・カーボンニュートラル戦略推進事業(R6)【再掲】 ・カーボンニュートラル普及促進事業(R4～R6)
③	脱炭素化と併せ、エネルギーの地産地消やレジリエンス向上などによる地域社会への貢献に取り組む人材の育成を図るため、企業や商工関係団体等を対象とした普及啓発を実施	○	○	○	・エコアクション21推進事業(～R6) ・脱炭素化モデル中小企業育成事業(R5～R6) ・富山型GX推進事業(R6)
④	SDGsフォーラムやセミナーの開催など、県民総参加によりSDGsの取組みを促進	○	○	○	・県民総参加のSDGs取組み促進事業(R4) →・県民総参加のSDGs連携促進事業(R5～R6)
<b>(5)アルミ・くすり、リサイクル等の産業競争力強化</b>					
①	循環型アルミ産業網のデータ連携によるトレーサブルなカーボンフットプリントの体系構築など、「アルミコンソーシアム」によるプロジェクトを深化	○	○	○	・アルミ産業成長力強化戦略推進事業(～R6)
②	県内産学官の連携による医薬品を中心とした研究開発、専門人材育成等に取り組む、医薬品産業の振興を図るとともに、若者の地元定着等を促進するなど、「『くすりのシリコンバレーTOYAMA』創造コンソーシアム」によるプロジェクトを長期的に推進	○	○	○	・地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業(～R6)
③	介護施設等の現場ニーズに基づく、官民連携による製品開発プロジェクトの支援など、「とやまヘルスケアコンソーシアム」によるプロジェクトを推進	○	○	○	・ヘルスケア産業育成創出事業(～R6)
④	富山のくすりの品質・信頼性の回復に向けた取組みを支援するとともに、県内企業が実施する成長分野の医薬品及び高付加価値製剤の開発に資する研究などを支援	○	○	○	・医薬品開発支援事業(R4～R6) ・創薬ベンチャー連携事業(R4) ・富山のくすり品質・信頼性等確保事業(R4～R5) →・「くすりの富山」品質向上・GMP体制強化事業(R6)
⑤	県内で廃棄された廃プラスチックや県内由来のバイオマスの利活用など、地域内循環の取組みを支援	○	○	○	・プラスチックの地域循環促進事業(R4) ・プラスチックごみリサイクル支援マッチングサイト運営事業(R5) ・プラスチック資源循環促進事業(R6)
<b>(6)実証実験の誘致・実施</b>					
①	地域課題の解決や新しいビジネスモデルの構築につながる、県内全域をフィールドとした、国内外の企業等が保有する革新的な技術を使用したプロジェクトの誘致を推進	○	○	○	・デジタルソリューション推進事業(R4～R5)【再掲】 →デジポックとやま実証実験プロジェクト事業(R6)【再掲】
②	県のDX施策の検討や実施に活かすため、県民・県内外の事業者からの意見・提案を受け付ける体制を構築	○	○	○	・DX推進目安箱の設置(R3.11～R6) ・マイナンバーカード利活用ハッカソン開催事業(R6)
③	中山間地域の活性化につながるドローン、AI等のテクノロジーを活用したビジネスモデルの構築に向けて検討	○	○	○	・中山間地域ドローン物流実証事業(R4) ・中山間地域の持続可能な物流モデル構築事業(R5)

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
<b>(7)人材育成、公教育の強化</b>					
①	目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、解決策を生み出す資質・能力を育成するために、 ・高校では、プロジェクト学習推進重点校やSTEAM教育研究開発校の指定、「学びのイノベーション・プラットフォーム」への参画等を推進 ・小中学校では、自らテーマを設定したプロジェクトを立ち上げ、地域の協力を得ながらの活動の実施や民間人によるゲストティーチャーの活用等を推進	○	○	○	・とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業(R4～R6) ・令和のとやま型教育推進事業(R4～R6) ・高校オープンイノベーション支援事業(R5～R6)
②	高校生ものづくりマイスター・アグリマイスターの育成や認定、県出身の起業家から起業プラン等について学ぶワークショップ等の開催などにより、職業教育を推進	○	○	○	・とやまの高校生マイスター育成事業(R4～R6) ・高校生職業教育プログラム推進事業(R4～R5) ・富山型キャリア教育充実事業(R4～R6)
③	幼小接続担当の幼児教育アドバイザーの任用による県内の幼児教育施設と小学校との接続推進のコーディネート・取組の企画・助言や幼小接続モデル校区への支援と実践事例等の発信など幼児教育の質の向上及び強化を図る	○	○	○	・幼児教育の質の向上推進事業(R4～R6) ・とやま親学び推進事業(R4～R6)
④	独創的な思考と高度な技術をもつDX人材の育成のため、中高生が高度なプログラミングスキルを習得し、実践する機会や、小学生がプログラミングに親しむ機会を創出	○	○	○	・未来のDX人材育成事業(R4～R6) ・県立学校DX加速化推進事業(R6) ・「WRO2024 Japan 決勝大会 in 富山」開催事業(R6)
⑤	小中高生の情報活用能力を育成するため、教員を対象とする研修を充実するとともに、校務のDX化等により学校の働き方改革を推進	○	○	○	・ICT教育推進事業(R4～R6) ・GIGAスクール運営支援センター整備事業(R4～R5) ・情報通信技術支援員派遣事業(R4～R6) ・GIGAスクール構想推進事業(R4～R6)
⑥	県内大学等が実施するリカレント教育の普及啓発の取組みやセミナー開催を支援するなど、社会人の学び直しを支援(再掲)	○	○	○	・県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業(R4～R6) ・データサイエンス連携推進事業(R4～R6)【再掲】 ・とやま人材リスキリング補助金(R6)
⑦	県立大学に整備される「DX教育研究センター(仮称)」を拠点として、社会人や学生をはじめとした県内のDX人材育成等を推進(再掲)	○	○	○	・県立大学DX教育研究センター運営事業(R4～R6)【再掲】 ・県立大学情報工学部整備事業(R5～R6)
<b>●継続的な検討課題</b>					
①	・カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを軸にした、さらに大胆な大戦略を描く ・「国際標準化時代の地方産業の在り方」を描き、DXを取り入れた省人化など先手を打った対応準備を県が支援し、SDGsを県民運動化することなどにより、競争力の維持・強化を図る	○	○	○	・ものづくり産業未来戦略改定事業(R5) ・産学官オープンイノベーション推進事業(～R5)【再掲】 ・とやま成長産業創造プロジェクト推進事業(～R5)【再掲】 →産学官オープンイノベーション推進事業(R6)【再掲】 ・ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業(R6) ・県民総参加のSDGs取組み促進事業(R4)【再掲】 →県民総参加のSDGs連携促進事業(R5～R6)【再掲】
②	地元根差した新しい自立経済圏の構築のため、まちづくり戦略、ブランディング戦略、スタートアップ支援戦略との横断的連携による、自然や風土など富山県の資産を活用しつつテクノロジーやデザインを上手に導入する、地産地消型などの新しい企業群の創出	○	○	○	・地域資源活用事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業)(～R6) ・中山間地域コミュニティビジネス人材育成事業(R5) ・がんばる女性農業者支援事業(～R6)
③	デジタル・トランスフォーメーションについて、一般県民全般に対する、デジタルサービス利用の普及啓発と、それによる、企業のマネタイズ可能なデータの集積	○	○	○	・デジタルデバйд対策事業(R4～R6) ・データサイエンス連携推進事業(R4～R6)【再掲】
④	くすりについて、成長のための戦略を、新薬開発に限らず、予防医療やヘルスケアなど関連分野も含めて、広く検討	○	○	○	・地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業(～R6)【再掲】
⑤	・大学や産業界などと連携したりカレント教育の充実 ・質の高い教師が一人一人の生徒ときちんと向きあえる現場の質とリソースのゆとりを生むための財政的・人事的コミットメントの検討	○	○	○	・データサイエンス連携推進事業(R4～R6)【再掲】 ・学校多忙化解消推進事業(～R6) ・学力向上推進教員配置事業(R6)

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
	⑥ 実証実験の誘致において、県外のスタートアップ等呼び込み、県内への移転や県内企業/スタートアップとの連携を活発化(「場所貸し」とならないよう、県内の企業/団体との座組みを重視して実施し、知見や成果を県内で生かせるように留意して進める)	○	○	○	・デジタルソリューション推進事業(R4~R5)【再掲】 → デジポックとやま実証実験プロジェクト事業(R6)【再掲】
<b>5. スタートアップ支援戦略</b>					
<b>(1) ネットワークの構築、機運の醸成</b>					
	① 富山で今後活躍が期待される起業家を選定し、希望する県内外のスタートアップ支援者をあわせたネットワークを構築するとともに、情報発信を通じた創業機運の醸成を図る	○	○	○	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (スタートアップ創出に向けたネットワークの構築)(R4) → とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (サポーター向けイベント開催)(R5~R6) ・ポートランド起業・ビジネス研修実施事業(R4~R6)
	② 県内の多様な主体によるアントレプレナーシップの涵養に向けたプログラムの実施に向けて、県の創業支援センターにおけるセミナー等の開催や、支援機関・市町村等のソフト事業(セミナー等)を支援	○	○	○	・創業支援センター・創業移住促進住宅管理運営事業(R4~R6) ・とやま創業支援拠点活性化事業(R5~R6) ・創業プログラム等実施支援事業(R4~R5) → とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (スタートアップエコシステム形成促進事業費補助金)(R6)
<b>(2) シーズ案件の発掘・起業家支援</b>					
	① スタートアップ支援に実績のある、ベンチャーキャピタル(VC)、支援機関、専門家、経営者等の協力を得て、従来の枠にとらわれない突き抜けたスタートアップ(跡継ぎベンチャーを含む)の案件発掘を図る	○	○	○	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (シード案件の調査)(R4~R6) ・事業承継つなぐサポート事業(R4~R6)
	② 東京で起業家育成プログラムを実施し、本県在住の起業希望者と首都圏のスタートアップエコシステムの交流を促進するとともに、プログラムをより実践的な内容とするため、スタートアップ起業家やVCの講演・支援を拡充	○	○	○	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (とやまスタートアッププログラムin東京)(R4~R6) ・首都圏での新産業スタートアップマッチング事業(R4~R6)
	③ 資金調達について、現行の県の支援制度の見直しを行うとともに、スタートアップの資金調達環境の充実に向けた、県内企業・金融機関等との連携や、VCとのマッチングを推進	○	○	○	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (スタートアップ創出に向けたネットワークの構築)(R4)【再掲】 → とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (サポーター向けイベント開催)(R5~R6)【再掲】 ・スタートアップ支援事業 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)(R5~R6) ・県融資制度「創業・事業承継支援資金(創業者枠)」(~R6)
<b>(3) 集中的な起業家支援</b>					
	○ スタートアップ特有の課題について、ニーズに応じた専門家派遣や人材マッチング等を行い、スタートアップの成長を集中的に支援	○	○	○	・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (ハンズオン支援)(R4~R6) ・とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 (米国シリコンバレー市場等開拓支援事業)(R6)
<b>(4) スモールビジネスの成長支援</b>					
	① 県内起業家の裾野拡大のため、市町村・支援機関との役割分担の下、富山らしさを活かした、交流人口の増加に繋がるようなビジネスを支援	○	○	○	・クラウドファンディング活用起業支援事業(R4) ・とやまUIターン起業支援事業(R4~R6) ・スモールビジネス創業支援事業(R4)
	② 県が設置する創業支援センターにインキュベーションマネージャーを設置し、県内外の関係機関と連携しつつ、センターにおける各種イベントを開催	○	○	○	・創業支援センター・創業移住促進住宅管理運営事業(R4~R6)【再掲】 ・とやま創業支援拠点活性化事業(R5~R6)【再掲】
<b>● 継続的な検討課題</b>					
	① 創業ベンチャーを発掘し、エコシステムを創出するため、J-Startupを参考とした富山独自のスタートアップ発掘支援策を検討(制度設計、運営の解像度の向上、運営主体や支援者の具体像などの議論を深める) ・「日本一親切である」「日本一熱心である」「日本一の支援体制である」などのエッジを示す	○	○	○	とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(R4~R6)【再掲】

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
	② 創業者の裾野を増やしていくための、起業家教育やカジュアルに相談できる場の創出に向けて、県の創業支援センターの活用や大学発ベンチャーの支援体制、起業家プログラムなど、成長戦略の「実施すべき施策」であげられている項目を具体的な議論を通じて県内で社会実装化	○	○	○	・創業支援センター・創業移住促進住宅管理運営事業(R4～R6) 【再掲】 ・とやま創業支援拠点活性化事業(R5～R6)【再掲】 ・高校生首都圏インターンシップ事業(R6)
<b>6. 県庁オープン化戦略</b>					
<b>(1) 県庁組織の活性化</b>					
	① 必要な情報のある現場に赴き、現場や県民の声を聴き、組織の垣根を越えて関係者と密に連携して業務を進める「越境人材」を育成	○	○	○	・地方創生人材育成研修事業(R4～R6) ・官民連携人材育成事業(R4～R6)【再掲】
	② 指示待ちではなく、主体的に取り組み、チャレンジする職員の育成	○	○	○	・庁内複業制度・ジョブチャレンジ制度の実施(R4～R6) ・チャレンジコンテスト事業(R6)
	③ 風通しがよく、柔軟な発想が生まれる職場づくりに向け、肩書や所属・職種に関係なく職員同士が気軽に意見・情報交換ができる場の創出	○	○	○	・共創スペース「コクリ」の整備(R4) ・県庁活性化促進事業(R5～R6) ・執務環境改善事業(R6)
<b>(2) 県庁の働き方改革の推進</b>					
	① デジタルツール等を活用し、ペーパーレスを進めることが可能となる業務改善など、業務の効率化に向けて、業務そのものを見直す	○	○	○	・電子契約導入事業(R4～R6) ・行政手続オンライン化推進事業(～R6) ・グループウェア・メールシステムの再構築事業(R5～R6) ・生成AI活用業務支援システム整備事業(R6)
	② リモートワークやフレックスタイムなど多様な働き方ができる環境整備を推進	○	○	○	・リフレッシュワーケーション(健康経営)事業(R4) ・テレワーク試行制度の実施(R4～R6) ・働き方改革ラボ事業(R4～R6)
<b>(3) デジタル技術を活用した住民サービスの向上・住民参加の推進</b>					
	① 県庁が持つ行政情報について、個人情報などの機微な情報以外は、誰もが利用できるよう、オープンデータ化を推進	○	○	○	・県のオープンデータポータルサイトリニューアル(R4) →・オープンデータ関連推進事業(R5～R6) ・「データ連携基盤」活用推進事業(R6)【再掲】
	② データ利活用による県民の利便性向上や新産業の創出、地域課題の解決を図るため、市町村が参加しやすいデータ連携基盤を構築	○	○	○	・ビッグデータ活用プラットフォーム構築事業(R4)【再掲】 →・サービス連携プラットフォーム等整備事業(R5)【再掲】 →・サービス連携プラットフォーム利活用推進事業(R6)【再掲】 ・「データ連携基盤」活用推進事業(R6)【再掲】
	③ 県庁のDXを推進するため、県職員のデジタル技術やデータ活用能力の向上を図る	○	○	○	・DX人材育成プログラム事業(R4～R6) ・DX施策立案高度化事業(～R4) →・DX施策立案官民連携事業(R5)
	④ 県庁のHPの正確性や有用性を確保し、アクセシビリティの抜本的改善を図る	○	○	○	・県HPアクセシビリティ改善事業費(R4) →・県HPユーザビリティ向上事業(R5) →・県庁ホームページ管理運営(R6) ・県HP等におけるAIチャットボットの運用(R4～R6)
	⑤ デジタルマーケティングを活用し、3:6:1(サーロイン)の法則に基づく効果的な情報発信を推進	○	○	○	・デジタルマーケティング推進事業(R4～R6)【再掲】 ・戦略的広報広聴調査・実証事業(R4)【再掲】 →・戦略的広報広聴事業(R5)【再掲】 →・県公式LINEの運営事業(R6)【再掲】
	⑥ インターネット広告等も活用し、若年層もストレスを感じることのない県政情報へのアクセス環境を提供	○	○	○	・インターネット広告活用情報発信事業(R4～R5) ・若者の県政参画推進事業(R6)
	⑦ 職員一人ひとりが公務においてSNSを効果的に活用して担当する政策情報を発信できるようになるなど「県の広報担当」としてのマインドとスキルを醸成	○	○	○	・広報効果調査・向上事業(R4) ・県職員発信力強化事業(R5) ・若者の県政参画推進事業(R6)【再掲】
<b>● 継続的な検討課題</b>					
	① トップダウンで廃止すべき無駄な業務の洗い出しと、トップからのコミットメント	○	○	○	・官民協働事業レビュー実施事業(～R6) ・業務の抜本的な見直し(R4～R6)

A. 区分	B.「成長戦略の実現に向けた施策」 又は「継続的検討課題」	C.施策の実施状況			
		実施年度			主な事業等
		R4	R5	R6	
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッション・ビジョン・バリューのような「何のために何をやるか」について、県庁全体の大きなミッションからブレイクダウンし、部・課・係の単位で言語化・共有（その決定過程に現場の職員が参加できている）</li> <li>・民間企業で多く活用される「オフサイト」のような場の検討</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁組織活性化・人材育成事業(R4) →・県庁活性化促進事業(R5～R6)【再掲】</li> <li>・県職員人材育成研修事業費(R5～R6)</li> <li>・富山県職員行動指針の策定(R5)</li> <li>・共創スペース「コクリ」の整備(R4)【再掲】</li> </ul>
③	360度評価において、部下が上司を評価することを検討		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県職員人材確保・育成基本方針」策定(R5) →人材確保・育成基本方針において、多面的評価制度の検討を行うこととしたことを踏まえ、引き続き検討</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報予算が各事業予算に紐づいており、広報のやり方が事業ごとにバラバラであることへの対応</li> <li>・まずは局所的にベストプラクティスを作ることに注力しながらも、それを横展開するために、広報・広告に関する手法のガイドラインを県庁として作成</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルマーケティング推進事業(R4～R6)【再掲】</li> <li>・ブランディング・情報発信強化事業(R5～R6)【再掲】</li> <li>・若者の県政参画推進事業(R6)【再掲】</li> </ul>
⑤	オープンデータ活用や住民参加などにおける、県と市町村との連携を検討	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグデータ活用プラットフォーム構築事業(R4)【再掲】 →・サービスプラットフォーム等整備事業(R5)【再掲】 →・サービス連携プラットフォーム利活用推進事業(R6)【再掲】</li> <li>・「データ連携基盤」活用推進事業(R6)【再掲】</li> <li>・デジタル人材による市町村DX支援事業(R5～R6)【再掲】</li> </ul>